

28 危第 158 号
28 自保第 190 号
28 市長会第 357 号
長町村第 769 号

平成 28 年（2016 年）9 月 20 日

防衛大臣 稲田 朋美 様

長野県知事
阿部 守一

長野県市長会会長
三木 正夫

長野県町村会会長
藤原 忠彦

オスプレイの飛行訓練について（要請）

昨年 10 月に公表された「CV-22 オスプレイの横田飛行場配備に関する環境レビュー」において、訓練空域の一部に長野県内の市町村が含まれていることが確認されました。

我々としても、安全保障の重要性は認識しておりますが、一方で、住民生活の安全・安心を確保することも地方自治体の最大の使命であります。

長野県としては、平成 25 年 3 月に、政府としてオスプレイの安全性や訓練の具体的内容について関係自治体及び地域住民に対し事前に十分説明をするとともに、飛行高度や区域等に関する日米合同委員会合意事項の遵守や希少野生動植物の生息環境に与える影響の低減のための適切な対応について在日米軍に強く求めることを防衛大臣及び環境大臣あてに要請したところです。

また、今回の環境レビューの公表を受け、県内全市町村から集約した質問等に対し、本年2月に北関東防衛局から回答をいただきましたが、一部の市町村では、良好な生活環境や閑静な山岳高原観光地に影響が生ずるとの懸念などから、訓練区域からの除外を望む意見があるとともに、一部の市町村議会においても、訓練中止を求める意見書が可決され、県民のオスプレイの安全性に関する不安や生活環境等への影響に対する懸念はいまだ払拭されたとは言えない状況にあります。

このことから、改めて下記のとおり要請します。

記

- 1 オスプレイの飛行訓練における実態を広く情報開示するとともに、その安全性や今後展開される運用全般の状況について、具体的内容を明確にした上で、関係自治体及び地域住民に対し事前に十分説明すること。
- 2 県民や観光客に不安や懸念を抱かせるような飛行訓練が実施されないよう、飛行高度や区域等に関する日米合同委員会合意事項の遵守について、在日米軍に強く求めること。
- 3 オスプレイの訓練区域は、イヌワシやライチョウといった絶滅危惧種の生息が確認されている重要な地域であるため、その生息環境に与える影響の低減に配慮した適切な対策を講ずるよう、在日米軍に強く求めること。

長野県危機管理部 危機管理防災課危機管理係
(課長) 竹内 善彦
(担当) 吉原 正夫、渋沢 陽一、三好 悠介
電話：026-235-7184 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 5210
FAX：026-233-4332
E-mail: bosai@pref.nagano.lg.jp

長野県環境部 自然保護課自然保護係
(課長) 宮原 登
(担当) 田中 達也、神谷 一成
電話：026-235-7178 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 2777
FAX：026-235-7498
E-mail: shizenhogo@pref.nagano.lg.jp

長野県市長会事務局
(次長) 牧 章一
電話：026-234-3611 FAX：026-234-3614
E-mail: info@cheering-nagano.jp

長野県町村会事務局
(次長) 上沢 政裕
電話：026-234-3530 FAX：026-235-2064
E-mail: info@nagano-choson.gr.jp